

# あさひまち未来の学校 検討委員会だより

第1号  
2022年1月14日  
朝日町教育委員会  
☎67-3302

## 子どもたちが楽しく学び合い、 たくましく育つために最適な学校を！

「あさひまち未来の学校」検討委員会（委員長 富樫清志）を立ち上げました。構成メンバーは、各小中学校の学校運営協議会委員の代表、あさひ保育園・小中学校保護者の代表、小中校長会・教頭会代表、一般公募の方です。これまで会議を2回行いました。その内容を町民の皆様にもお知らせします。

### 【第1回】令和3年11月18日（木）

#### 説明① 朝日町の児童・生徒数等の現状（令和3年4月現在）

	0歳	1歳	2歳	年少	年中	年長							計						
							1年	2年	3年	4年	5年	6年							
三歳未満児	3	5	4	5	4	5	西五百川	計	8	2	10	9	3	6					
	9	17	20	19	16	19	宮宿	計	19	24	19	28	26	20	1年	2年	3年		
	2	8	6	6	7	6	大谷	計	10	5	10	6	7	7	朝日中	計	54	50	55
	14	30	30	30	27	30	小学校計		37	31	39	43	36	33	中学校計		54	50	55

令和4年度入学から朝日中学校は学年1学級になります。令和4年度以降、町内の小学校に入学する児童総数が30人以下になり、令和2年度に生まれた子どもの数は14名です。

#### 説明② 朝日町小中学校の校舎・体育館等の経過年数

大谷小学校を除く3つの校舎は建設後40年以上経過しています。現在のすべての学校施設を80年間使用できるようにするためには、長寿命化大規模改修工事が必要になり、その費用はおよそ30億円と見込まれます。その後も、安心安全な学校施設を維持するために多額の費用が継続的に必要になります。

## 【第2回】令和3年12月16日（木）

「朝日町の未来の学校像」をテーマに、朝日町の強みを生かした学校について熱く語り合いました。委員のみなさんは、新しい学校をつくるという視点に立っておられました。



### 地域住民との交流ができる学校

子どもたちは西部・中部・北部すべての地域でいろいろな体験をすることができる。地域の人々が気軽に学校に足を運び、先生として授業に参加することができる。子どもだけでなく大人やお年寄りも交流し、学び合うことができる。

### 保小中一貫した教育ができる学校

12年間を見越し、子どもたちに確かな学びと育ちを保障することができる。園児や小学生、中学生が日常的に交流することにより思いやりの心が育ち、笑顔があふれる。中学生が活躍する姿を近くで見ることができる。

### 他の市町村からも入学したくなる学校

最新の設備や教材等を兼ね備えた魅力的な校舎がある。地域の特色を生かした魅力的な教育内容である。英語教育に力を入れている。給食がとにかくおいしい。

その他にも「未来の学校のあり方を考えることは、将来的な町づくりのビジョン

との結びつきが大きい」、「どうしたら朝日町に若者が残ってくれるかをまず考えなければいけない」、「新しい学校をつかった場合、今ある学校をどのように活用するのかを一緒に考える必要がある」などの意見をいただきました。



## 今後の予定

1月下旬から2月上旬 保護者・町民アンケートを実施

令和4年2月24日（木） 第3回検討委員会（アンケート結果を踏まえて）

これからも町民の皆様には話し合いの様子をお伝えしていきます。一緒に「あさひまち未来の学校」についてお考えいただきたいです。

